



Administration via Telephone アプリケーションの設定

Administration via Telephone (AvT) アプリケーションは、Cisco Unity Express が次の機能を提供できるようにするための、テレフォニーベースのインターフェイスです。

- 管理者は、PC、または Telephone User Interface (TUI; 電話ユーザ インターフェイス) などのサウンド編集ソフトウェアを使用しないで、新しいオーディオ プロンプトを記録したり、既存のカスタム オーディオ プロンプトを削除したりすることができます。その後、これらのプロンプトは、デフォルトの自動受付の初期プロンプトなど、さまざまな Cisco Unity Express のアプリケーション スクリプトで使用できます。Emergency Alternate Greeting (EAG) は、AvT 内のオプションです。これを使用すると、ユーザは特別なグリーティングの録音や修正、使用可能と使用不能の切り換えを行うことで、そのグリーティングを通常のグリーティングの前に再生し、一時的なイベントやメッセージを発信者に知らせることができます。
- 管理者は、既存のプロンプトを再録音できます。
- 管理者は、ブロードキャスト メッセージを送信できます。ブロードキャスト権を持つユーザは、AvT 機能の制限付きセットにアクセスできます。
- 管理者は、リモート ロケーションとリモート ユーザに対して、音声を録音できます。

AvT アプリケーションは、Cisco Unity Express モジュールのインストールで自動的に設定されます。

管理者 (Superuser) 特権またはプロンプト管理 (ManagePrompt) 特権を持つユーザだけが AvT にアクセスできます (特権の割り当てについては、「[グループの追加と変更](#)」(P.141) を参照)。発信者が AvT 番号にダイヤルすると、AvT は発信者の内線番号と PIN を要求して発信者を認証します。発信者が管理者権限を持っていない場合、AvT は発信者の通話を切断します。

AvT のアクセス電話番号を設定するには、「[アプリケーションの SIP トリガーの設定](#)」(P.95) または「[アプリケーションの JTAPI トリガーの設定 \(Cisco Unified Communications Manager に限る\)](#)」(P.99) を参照してください。

トリガーの設定

AvT アプリケーションの設定後は、特定の信号またはトリガーが呼び出されたときに、AvT アプリケーションを起動するようにシステムを設定する必要があります。トリガーは電話番号であり、SIP または JTAPI サブシステムのいずれかに設定できます。発信者が特定の電話番号をダイヤルすると、SIP または JTAPI サブシステムが AvT アプリケーションを起動します。AvT アプリケーション用に SIP および JTAPI トリガーを設定する方法については、「[トリガーの管理](#)」(P.94) を参照してください。

サポートされる最大トリガー数は、Cisco Unity Express ハードウェアで決まります。詳細については、『[Release Notes for Cisco Unity Express](#)』を参照してください。アプリケーションのトリガーを複数設定する手順については、「[高度な設定](#)」(P.367)を参照してください。

この設定は、Cisco Unified CME および Cisco Unified Communications Manager (SRST モード) に必要です。